



84111-XKDB -K0S0 ODYSSEY REAR UNDER SPOILER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

[適応車種]	ODYSSEY ABSOLUTE	RB1 - 130・140～
		RB2 - 130・140～
	ODYSSEY (Mエアロパッケージ)	RB1 - 330・340～
		RB2 - 330・340～
	ODYSSEY (Sエアロパッケージ)	RB1 - 340～
		RB2 - 340～

[色記号]	無限色記号	ホンダ色記号	色名
	AS	NH700M	アラバスターシルバー・メタリック
	PW	NH624P	プレミアムホワイト・パール
	NB	B92P	ナイトホークブラック・パール
	BA	RP37P	ブラックアメージスト・パール
	DF	G528P	ダークフォレスト・パール
	GF	NH658P	グレイファイト・パール
	GM	RP38M	グレイッシュモーフ・メタリック
	ZZ	未塗装	サーフェーサー仕上げ

色記号はフロントバルクヘッドアップパーのサービスインフォメーションプレートで確認して下さい

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんので御了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 営業課

【営業時間9:00~18:00】

TEL . 048 - 462 - 3131 FAX . 048 - 462 - 3121

お客様へ

1. リア アンダースポイラが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. リア アンダースポイラの取り付けにより、スポイラ部の地上高が低くなり、縁石、駐車場の車止めや段差等の通過の際、リア アンダースポイラを擦る恐れがありますので、十分注意して運転して下さい。
3. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。リア アンダースポイラに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
4. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

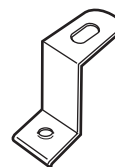
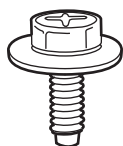
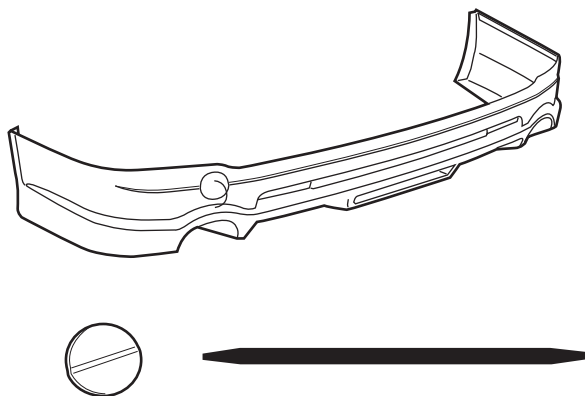
塗装作業の注意事項

1. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意ください。
2. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
3. 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液製アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
	リア アンダ スポイラ	1
	牽引フックカバー	1
	ワッシャーボルト M 6	1 2
	ワッシャーナット M 6	2
	タッピングスクリュー M 5	2
	スピードナット M 5	2
	ブラケット A（黒）	2
	ブラケット B	2
	ブラケット C	2
	ブラックアウトフィルム	1



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
	モール(グレー/ブラック)	各 1



【必要工具】

- ・ドライバー + ・ドリルφ 3, 6, 8 ・スパナ・メガネ 10 ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン ・定規 ・水性ペン ・ラチェットレンチ 10 mm

・取付準備

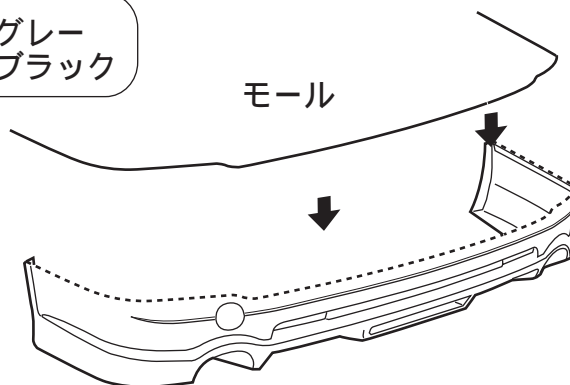
- 《注意》・リア アンダ スポイラおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・作業は左右同様に行うこと。

未塗装品は、アンダスポイラにモールを貼り付ける。

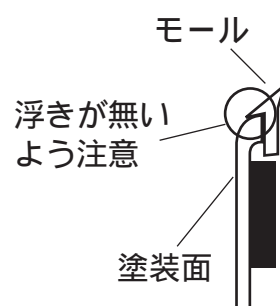
モール色

車体色が明るい場合
車体色が暗い場合

グレー
ブラック



断面

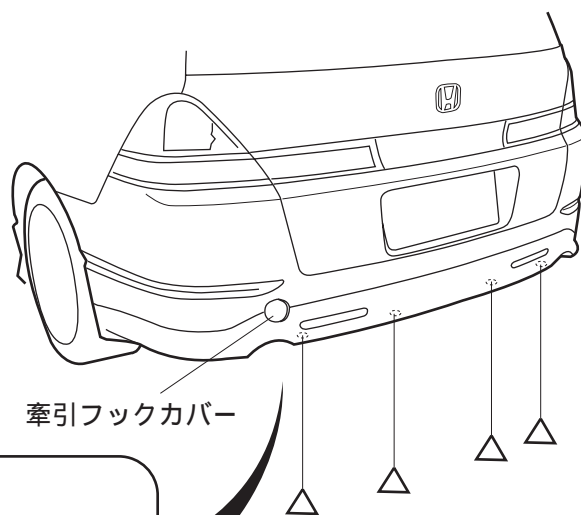


リア バンパ下面に4箇所ドリルで穴を開け、牽引フックカバーを外す。

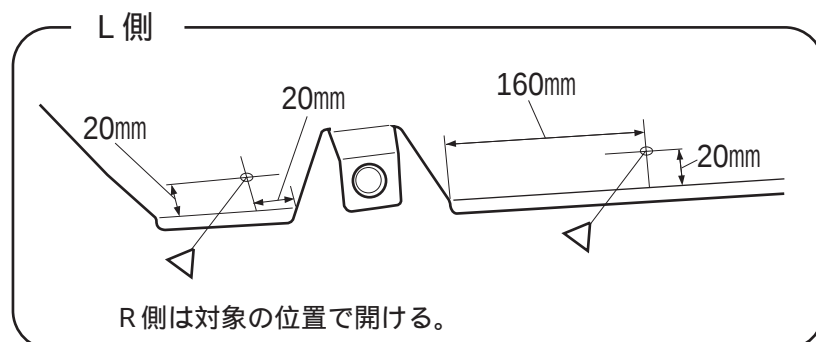
△(4)



ドリルφ3→φ8



牽引フックカバー



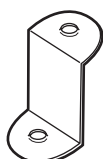
ブラケットA、Bをリア アンダースポイラに取り付け本締めをする。

A(2)



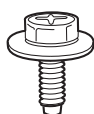
ブラケットA

B(2)

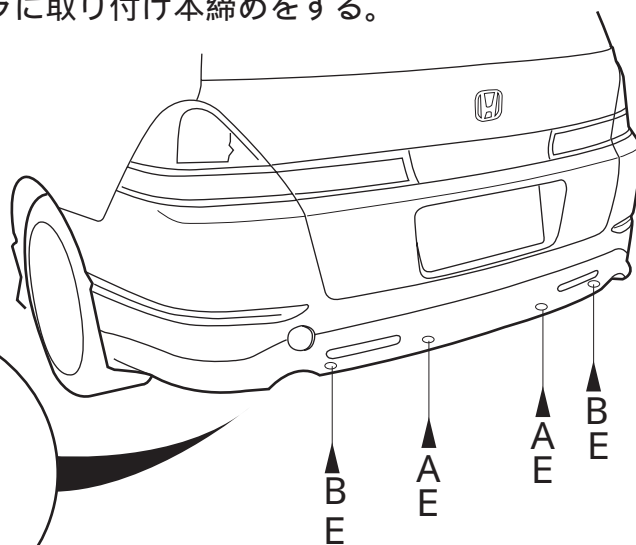


ブラケットB

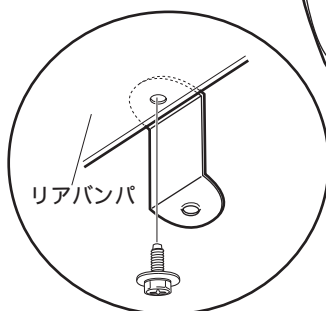
E(4)



ワッシャボルト
M6×16

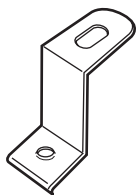


本締め時トルク 9.8N.m



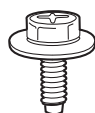
ブラケットCをリア アンダースポイラに取り付け本締めをする。

C(2)

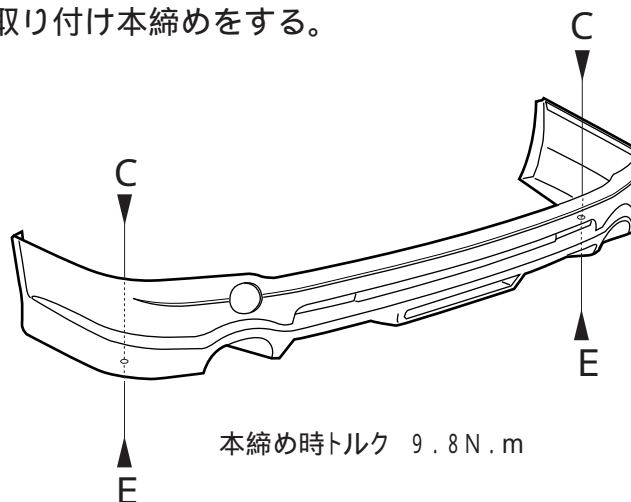


ブラケットC

E(2)



ワッシャボルト
M6×16



本締め時トルク 9.8N.m

リア バンパのドリルポイントにφ 3 ~ φ 6 の穴を2箇所開け , スピードナットを差し込む。
タッピングスクリュを外しておく。(再利用)

△ (2)



ドリルφ 3 → φ 6

F (2)

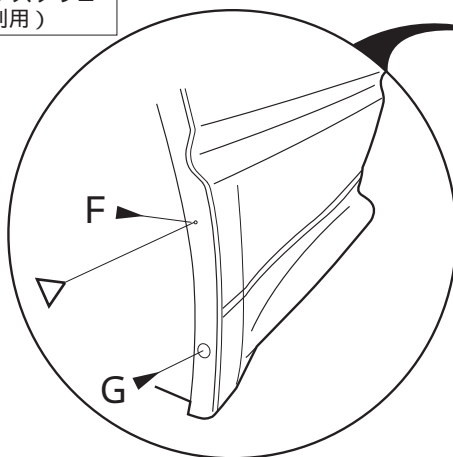


スピードナット

G (2)



タッピングスクリュ
(再利用)

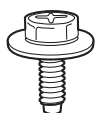


R 側も同様

リア アンダ スポイラを、ワッシャボルトM 6 × 1 6、タッピングスクリュを使って仮付け
をする。

下図のようにブラケットCの穴位置に2箇所水性ペンでマーキングをし、リア アンダ
スポイラを外してドリルでφ 3 ~ φ 8 の穴を開ける。

E (4)



ワッシャボルト
M 6 × 1 6

G (2)



タッピングスクリュ
(再利用)

H (2)



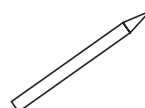
タッピングスクリュ

△ (2)



ドリルφ 3 → φ 8

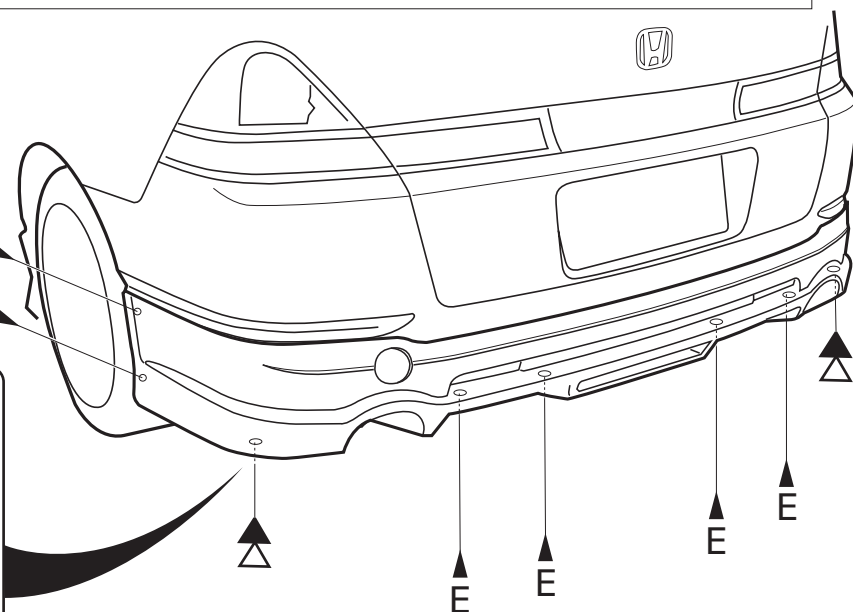
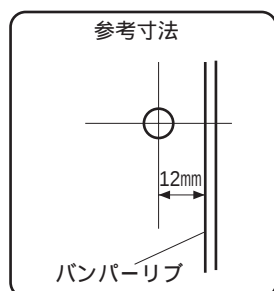
▲ (2)



水性ペン

R 側も同様

タッピングスクリュ
(再利用)

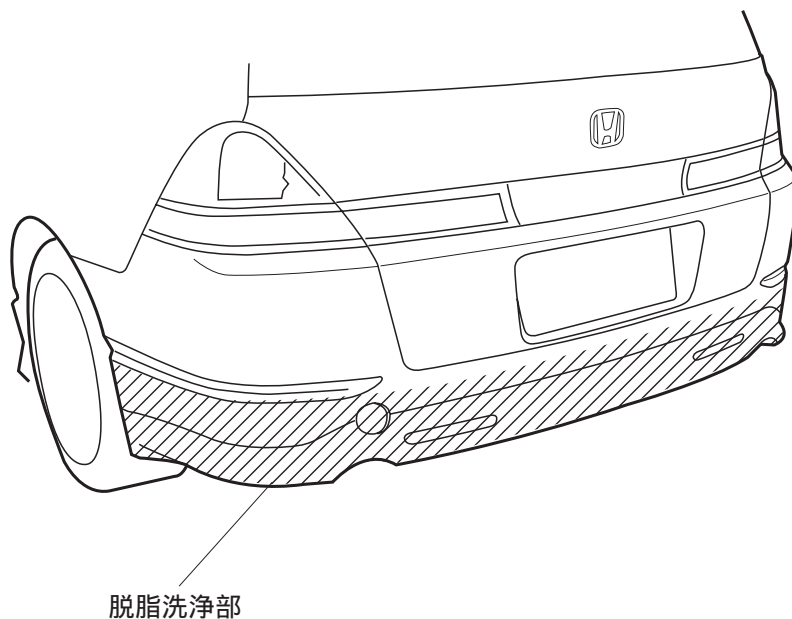


・リア アンダ スポイラの取付

《注意》・リア アンダ スポイラおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

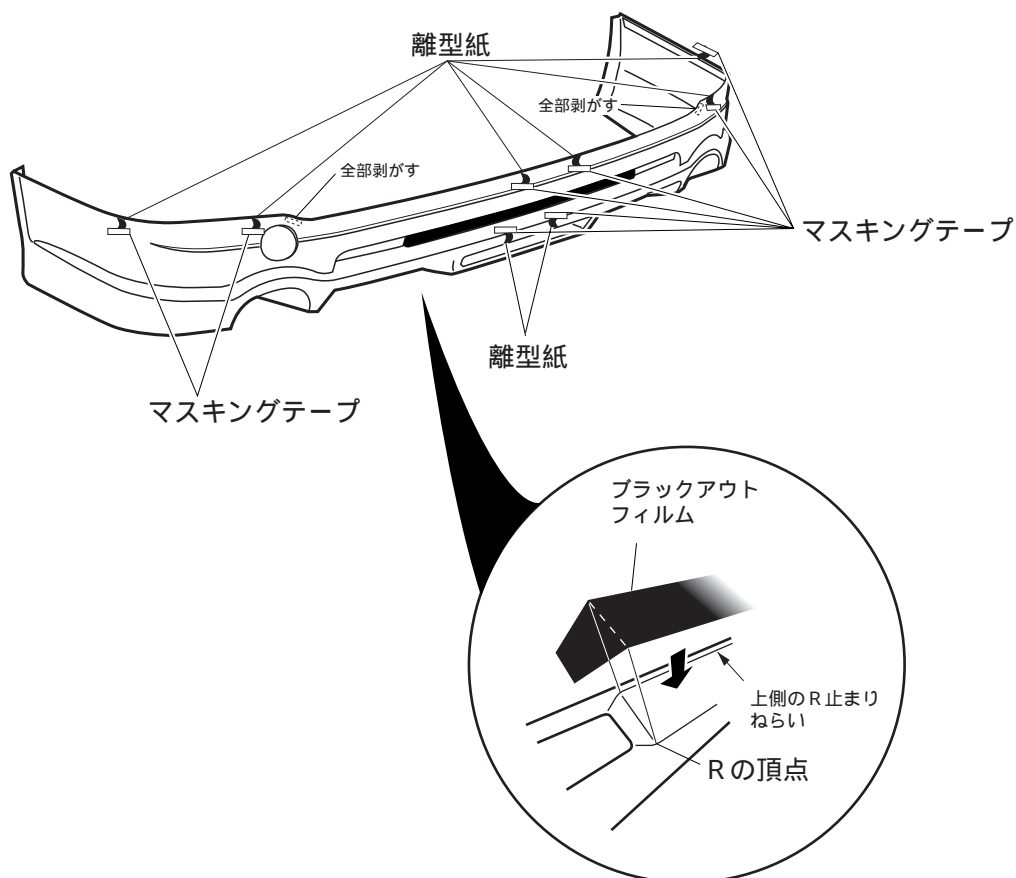
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様にを行うこと。

下図斜線部をホワイトガソリンで脱脂洗浄する。



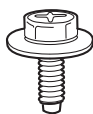
下図を参考にブラックアウトフィルムを貼り付ける。

リア アンダ スポイラの両面テープの離型紙を50mmほど剥がし、外側に折り曲げマスキングテープで固定する。



リア アンダ スポイラを、ワッシャボルトM 6 × 1 6、ワッシャナットM 6、タッピングスクリュ , を使って仮付けをする。

E (6)



ワッシャボルト
M 6 × 1 6

G (2)



タッピングスクリュ
(再利用)

H (2)

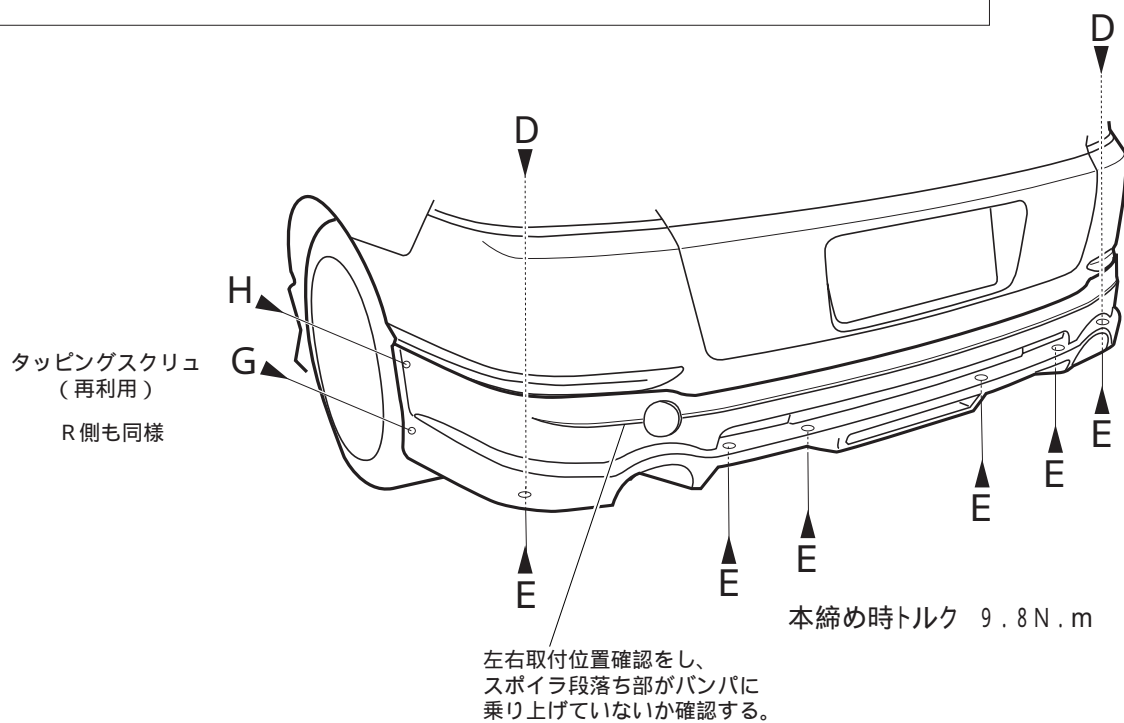


タッピングスクリュ

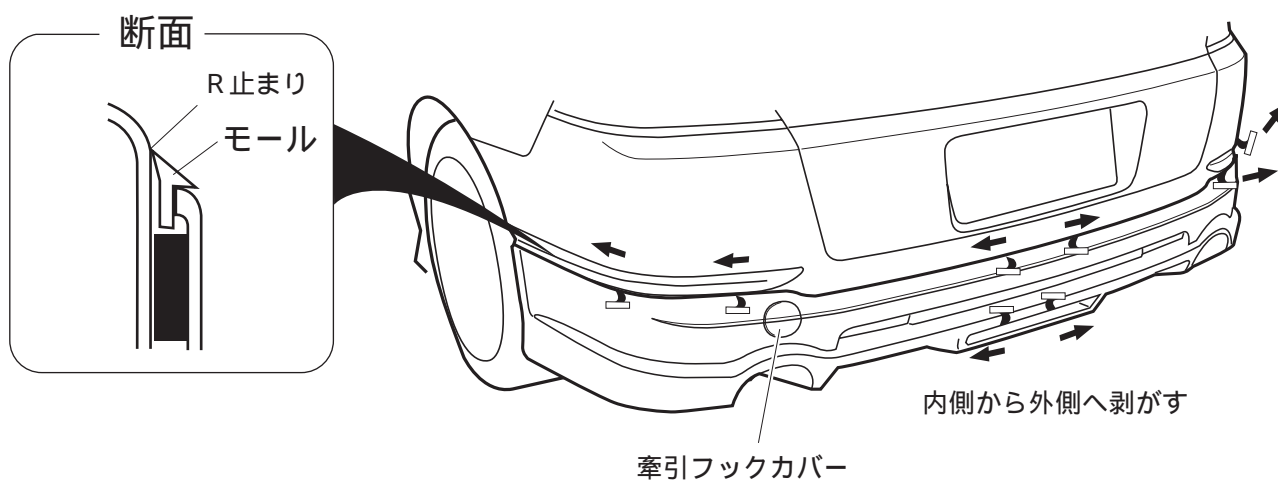
D (2)



ワッシャナット
M 6



取り付け位置を確認し、両面テープを→の方向に引き抜くように剥がし圧着する。
牽引フックカバーをつける。



両面テープの圧着は十分行うこと。
圧着不足は、スポイラの浮き剥がれの原因となります。
(バンパ裏面を手で押さえ、バンパを逃げないようによく圧着して下さい。)

各部のボルト・スクリュ類を本締めし、取付状態が完全か確認する。